

校長室の窓から

2021年になり約1か月経ちました。寒く、雪がちらつく日もありましたが、子どもたちは寒さに負けずに元気よく過ごしています。子どもたちの明るく元気な姿を見ると心からうれしくなりますが、油断はできません。県の緊急事態宣言が2月7日（日）までに延長されましたので、学校でも手洗い・消毒、マスク着用、換気を含む三密の回避、児童の健康管理を徹底し、十分気を付けていきます。

始業式で子どもたちに、次のような話（一部割愛）をしました。「しっかり気を付けていても、それでも病気になるから感染してしまうかもしれません。でも、これは病気になるから感染しても全然悪いことではありません。感染しても心配せずに、病院の先生の言うことを聞いてしっかり治せば大丈夫です。もし、先生方や友達、村の人がコロナウイルスに感染しても、これは悪いことではありませんから、悪口を言ったり噂話をしたりするのはおかしいですね。皆さんは悪口や噂話をしないと先生は信じています。」子どもたちの心の中には、コロナウイルス感染に対する不安があります。もし感染したら何か言われるのではないかと、何か言ってしまうのではないかと不安もあります。ですから、私たち大人は、子どもたちの体をウイルスから守るとともに、不安を取り除いて安心させてあげなければなりません。

「ウイルスに厳しく 人に優しく」を学校・家庭・地域で大切にしていきたいと思います！

ほっとニュース

自分で自分を守る！

冬になり、乾燥してくると怖いのが火災です。そこで、12日（火）に1年生教室で出火したと仮定して避難訓練を行いました。今回の避難訓練では、役場の消防担当の方に来ていただき、煙体験と防火扉の確認も行いました。

火災で怖いのは、火よりも煙だと言われます。煙が充満すると何も見えなくなり、冷静な判断ができなくなります。今回は、視聴覚室に煙を充満させ、煙が上へ上へと上がっていくことを教えていただきました。そして、その中で避難するためには低い姿勢で、口にハンカチなどを当てて避難することが大切だと学びました。

火災時には、防火扉が閉まることがあります。防火扉は通路を封鎖します。これだけでも実際は慌ててしまいます。私が以前勤務した学校の話になりますが、避難訓練時に防火扉が予定外に閉まってしまいました。避難しようとしていた先生と子どもたちは、どうしていいかわからずに別の方向に避難してしまいました。実は、防火扉には避難用のドアが付いています。それを開けて通ればいいのですが、知らなければパニックに陥るかもしれません。今回は、ドアを開いて通り抜ける練習もしました。

絶対にあってはならないことですが、万が一に備えることは大切なことです。ぜひ、ご家庭でも火災の際の避難について話し合ってみてください。



日々、感謝していただきます！

21日（木）の朝の活動の時間に、給食感謝集会を行いました。

まず、保健体育委員会の児童が、食品ロス（まだ食べられるのに捨てられている食べ物）の量の多さ、世界中には食事をとることができない人がたくさんいることを発表しました。これにはみんな驚いていました。その後、次のことを当たり前と考えてはいけないと訴えました。

- 毎日、ご飯を食べられるということ
- ご飯を作ってくれる人がいるということ
- 安全でおいしい食材を作ってくれる人がいるということ
- 私たちのところまで運んでくれる人がいるということ

これは、委員会の児童が言うとおりです。大人も子どもも当たり前と思い込んでいるのかもしれませんが。

次に、諸塚中の栄養教諭の先生からお話しいただきました。先生は、お願いとして次の2つを言われました。

- 好き嫌いせずにしっかり食べること
- よく噛んで食べること

よく噛んで食べることは、力が強くなることにつながるそうです。学校でも家庭でも大切にしたいですね。



★ キラキラニュース ★

おめでとうございます！！

★ 宮日新聞に作品掲載

学園詩壇

4年生 男児

4年生 男児